



ふれあい119



秋の火災予防運動 11月9日～11月15日

火のしまつ 君がしなくて 誰がする

結成した自主防災組織



北上消防署
署長 菊池 福夫

先般の震度五強を記録した岩手・宮城内陸地震及び岩手沿岸北部地震では甚大な被害を受けました。又、全国各地でも集中豪雨により被害が発生しています。更には、宮城県沖地震が近い将来確実に発生すると言われており、身近に迫ってくる恐ろしさを感じています。

このような自然災害から身を守るためには、日ごろから家庭や地域で防災や安全対策についての話し合いが必要です。いつ、おそつてくるか分からない災害に備え北上市内各行政区で自主防災組織が結成となり、防災訓練に取り組んでいます。

被害を最小限にとどめられるのは、地域の皆さんであり、地域の自主防災組織であります。そのためにも、「わが家の防災マニュアル」を有効活用し防災訓練に取り組み、安全・安心に役立てて頂きたいと思えます。

災害への備えは、 後世へのついでイベント

岩手県防災航空隊
副隊長 小原 和弘

岩手県内は今年度に入り、四月に発生した釜石市の山林火災を筆頭に、大規模な災害が続発する事態となりました。

六月十四日に発生した岩手・宮城内陸地震では、奥州市石淵ダム付近、一関市祭時市野々原、国道三四二号線上に二百四十五名という人々が行く手を阻まれて孤立状態となりました。岩手県は、防災ヘリコプター「ひめかみ」を地震発生とともに現地に投入し、全国の消防、警察、自衛隊、海上保安庁へり総勢二十五機の応援を得ながら、二日間で救出を完了させました。しかし、この劇的な救助活動は、地元消防、警察更に地域住民等のお力添えがあったからこそのことであり、使命感を持ち合わせた人間力、地域力には、ただただ敬意を表する次第です。

今回の地震は、「そろそろ宮城県沖地震が来るから身構えろ！」という天からの警告のように私は思えて



救助現場に向かう岩手防災ヘリ「ひめかみ」



全国の警察、自衛隊、海上保安庁のヘリ

おります。

「災害に備える」このことは、幾多の災害に犠牲を払いながら困難を乗り越えてきた先人への恩返しと未来に夢をもつ子ども達へのプレゼントでもあるのです。

*小原副隊長は当組合からの派遣職員です。

第三十六回岩手県消防 操法競技会出場して

西和賀町消防団

第三分団第一部長 高橋 英明

我々の所属は、西和賀町消防団第三分団第一部で、町のほぼ中央部に位置する大野地区を管轄として活動しています。今夏、我が部は貴重な体験をしました。それは、県消防操法競技会に小型ポンプの部で出場したことです。部での出場は旧沢内村消防団、現西和賀町消防団になってからも初めてだと先輩団員から聞いて驚きました。町、

なりません。今まさに岩手県の災害対策に対する手腕が問われている時なのです。私も残りの派遣任期を岩手県防災航空隊という立場から県民の安全・安心のために全力を尽くしたいものと考えて

北上支部大会を予想もしない結果で勝ち進み、驚きと共に、勝利した嬉しさと不安が交錯したことを覚えていきます。県大会出場ともなれば、操法の速さ、要領、節度等事細かなところまで求められ、厳しい訓練になると解っておりませんでしたので、自分自身とても不安でした。やがて大会に向けた訓練が始まり、我々が考えていた以上に厳しい訓練でした。団長をはじめとする団員の皆様、西和賀消防署員のご指導により自分達の操法に自信がもてる様になりました。大会当日になり本番直前「自分達の操法をやるろう」を合言葉に、第三コースに入りました。思っていたよりも緊張はしませんでした。あつという間に競技は終わりました。タイムや順位より、終わったと言う解放感、安堵感でいっぱいでした。閉会式が始まり「成績発表」第七位、西和賀町消防団「とアナウンスされた時のあの感動は今でもはつきりと覚えております。自分達も「やればできる」と言う自信を持ってました。今回の体験を基に微力ではありますが、西和賀町の防災のために活動してまいりますので今後共、ご指導、ご鞭撻を宜しくお願い致します。最後になりましたが、応援して頂いた多くの皆様方に感謝申し上げます。



西和賀町消防団第三分団
第一部の団員入賞記念写真



消防フェスタ2008



カメラスケッチ



救急搬送訓練 ひめかみ



黒沢尻保育園 アトラクション



北上チアリーダー・ダイヤモンドズ
アトラクション



ロープ渡り体験



職員集合・がんばりました



放水体験



災害医療訓練



AED・心肺蘇生法訓練



小学生防火ポスター



婦人消防協力隊 炊出し訓練



消防車両の展示



梯子車の搭乗体験

平成20年9月7日（日）午前10時から北上総合運動公園を会場に「見て、触れて、まるごと体験、みんなでつくろう！安全、安心な地域」をテーマに消防フェスタ2008を開催しました。

東北自動車道における 多重事故想定訓練

平成二十年九月十日（水）西和賀町の秋田自動車道錦秋湖雪氷基地広場でDMAT（災害派遣医療チーム）、北上医師会、岩手県交通（株）、高速道関係機関、北上地区消防組合など七団体約五十人が合同で訓練を行いました。

訓練は高速道路で乗用車が事故を起こし火災となり、他の大型バスや乗用車も巻き込まれ多くのけが人が出たという内容で行われました。応急救護所では多くのけが人が発生した時に使用するトリアージタグと呼ばれるカードを使用しました。カードには、患者の負傷部位を記載し、けがの程度に合わせて赤・黄・緑の色ごとに分けて、緊急性の高い人を優先にして処置を行いました。

医師と救急隊は負傷者を病院へ搬送するための連携訓練も行いました。



バックボード固定による患者救出



医師と救急隊によるトリアージ

応急手当の新たな取り組み 学校応急手当普及員講習

意識・呼吸がなく命が危険な状態の人を救うためには、近くにいる人の応急手当が大切です。

いざという時の応急手当を習得するためには、救命講習の受講が必要です。一度きりではなく何度も繰り返し受講することにより確実に身に付くと考えられます。



心肺蘇生法の訓練をする先生方

当組合では小、中、高校の協力を頂き、小学五年生から高校三年生までの生徒に対して、毎年一回以上応急手当の授業を、先生にしたいとお願いしています。応急手当の授業を担当する先生は、消防署で六時間の「学校応急手当普及員講習」を受講します。今年度はモデル校としてAED設置校（八校）の四十九名の先生方が受講しており、来年度以降も講習会を開催予定です。

北上市、西和賀町内の生徒が、毎年この授業を受けることでいざという時に正しい応急手当ができるようになり、今まで以上に安全安心に暮らせる街になることを目標としています。

住宅防災機器を備えましょう

《強化液消火器》のすすめ

消火器には、粉末を放射するものほか、液状の薬剤を放射するものもあります。粉末消火器は、優れた消火能力を持ちますが、屋内で使用すると薬剤が部屋中に広がり、部屋の中の物すべてに付着します。燃えているものから離れていてもパソコンやテレビなどの内部に入り障害を招く恐れもあります。

その点、液状の消火薬剤は放射した先のごく周辺の汚損で済みます。液状の薬剤が浸透するため粉末消火器より消火能力が優れています。蓄圧式のものにはストッパー機能があります。加圧式ではストッパー機能はありません。

以前は、やや高価な感もあった強化液消火器ですが最近では値頃な物もあります。

ぼや程度の初期消火に使い易い住宅用強化液消火器もあります。



平成二十年十月二十三日 発行・北上地区消防組合
編集・消防本部広報編集委員会

〒〇二四一〇〇八三

北上市柳原町二丁目三番六号

電話 〇一九七―六四―一一二二

災害情報案内 〇一九七―六五―五一一九